

DVD 最新作

# 積極的に生きていく

## ～生活を整えるリハビリテーション看護～

病気やその後遺症による障害は放置する気持ちはなくてもアツという間に進行し、固まってしまいます。夫は生活を整えるという考えと技術を持つ看護師たちによって支えられ、とても幸せなときを過ごすことができました。これはその記録です。多くの人たちが豊かな日々を過ごせるよう祈ってやみません。

聖隷クリストファー大学 看護学部 教授 川村 佐和子

本編

～生活を整えるリハビリテーション看護～

廃用症候群からの回復

31分



本編を視聴して

患者さんは神経難病と診断されても決して諦めないで下さい。

医療者と一緒にQOLやADLを上げていく努力をしていくことが大切です。

本作品は、ある患者さんが合併症によって急激に悪くなった状態から、リハビリテーションと看護の方々の努力で見事に回復できたことがよく描かれています。

国立精神・神経医療研究センター 理事長 水澤 英洋

特典映像

当時の看護ケアから  
「あきらめない看護」について語る

座談会

18分



<対象> 看護大学、短大、専門学校、病院内研修、看護師  
作業療法士、理学療法士、その他

企画協力

聖隷クリストファー大学 看護学部 教授

一般社団法人 日本在宅看護学会

埼玉医科大学 保健医療学部 講師

国立精神・神経医療研究センター 理事長

川村 佐和子

柏木 とき江

大森 美保

水澤 英洋

	DVD 1 枚	片面 1 層ディスク	16:9	
	MPEG2	不許可複製		

DVD全1巻(特典映像付き)  
¥20,000-(税別)

企画制作  
発売

東京シネ・ビデオ株式会社

〒164-0001 東京都中野区中野 2-13-21 パールミサト 303

TEL (03)5342-5381 FAX (03)5342-5384

http://www.tokyocine-video.co.jp

Mail info@tokyocine-video.co.jp

(ご注文は FAX またはメールにてお願い申し上げます)

## 本編

## 廃用症候群からの回復 31分

## ○プロローグ① Kさんの当時の主治医のお話

～難病であってもあきらめない看護～

国立精神・神経医療研究センター 理事長 水澤英洋先生

## ○プロローグ② Kさん(71歳)の病気発症からその経過

病名：進行性核上性麻痺(2001年に診断)

経過：2006年 9月急性硬膜下血腫(転倒で手術)

12月胃瘻造設(複数の病院・施設で療養)

2007年 回復期リハビリ病棟へ

## ○回復期リハビリ病棟でのKさんの新たな挑戦

- ・家族カンファレンス
- ・チームカンファレンス～プライマリーナーシング形式～
- ・回復への看護計画～看護計画と実践へのアセスメント～
- ・看護問題の優先順位

## ○回復に向けてのケア①

(端座位訓練 伏臥位療法 食事前のリラクゼーション)

## ○経口摂取へ向けてのカンファレンス

## ○回復に向けてのケア②

ボールを抱えたストレッチ 食事前のマッサージ(口腔・顔)

口と舌の運動 ゼリ食から開始 口腔ケア 食事介助

## ○回復に向けてのケア③

自力歩行に向けた器具を使ったりリハビリ/院外看護～ケア付きねぶたツアー～

## ○成果の確認と次の目標について～看護師チームのミーティングから～

## ○Kさんの外出(自分の買い物と奥様へのプレゼント)

## ○Kさんの一時帰宅(家族・看護師チームとともに)

## ○生活を整える看護・あきらめない看護

～知識・看護技術とその工夫 患者に対する関心～

柏木とき江(一般社団法人 日本在宅看護学会)



## 特典映像

座談会 当時の看護ケアから  
「あきらめない看護」について語る 18分

## Kさんの妻

聖隷クリストファー大学 看護学部 教授 川村 佐和子

## 当時の看護部長

一般社団法人 日本在宅看護学会 柏木 とき江

## 当時の看護師長

埼玉医科大学 保健医療学部 講師 大森 美保

